

2019年10月16日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
株式会社セガ・ロジスティクスサービス

高齢者の運転寿命延伸を支援する「運転シミュレーター」の開発

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）と株式会社セガ・ロジスティクスサービス（本社：東京都大田区、代表取締役社長：山本 健、以下「セガ・ロジスティクスサービス」）は、高齢者の事故の削減を目的として、運転に関する認知機能や運転技能を診断・トレーニングできる機能を備えた「運転シミュレーター」を共同で開発し、2019年12月から提供を開始します。

1. 開発の背景

昨今の高齢ドライバーによる事故の増加を背景に、75歳以上の方の運転免許更新時における認知機能検査導入や高齢者向け限定免許制導入の検討など、高齢者の事故の削減が社会的に重要な課題となっています。

また、事故を未然に防ぐためには、運転者自身が運転に関する認知機能や運転技能の状態を把握し、機能維持や技術向上のトレーニングを行うことで、健康で安全に運転できる状態を維持していくことが重要といえます。

このたび、損保ジャパン日本興亜の「安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供する」という経営理念と、セガ・ロジスティクスサービスの「高齢ドライバーによる事故を未然に防ぐための運転シミュレーターの開発、製造に取り組んでいく」という企業方針が一致したことから、両社は、高齢者の事故削減を目的に運転に関する認知機能や運転技能の診断・トレーニング機能を備えた運転シミュレーターを共同で開発しました。

（監修 東京医科歯科大学：朝田 隆 医学博士、佐賀大学：堀川 悦夫 医学博士）

2. 運転シミュレーターの特徴

（1）認知機能・運転技術のレベルチェック

- ・シミュレーター上の運転結果をもとに、危険予測や判断力・記憶力など運転に関する認知機能のレベル、操作の正確性や反応速度など運転技術のレベルがチェックできます。
- ・チェック結果を、「運転脳年齢」および「運転技能分析」としてスコア化し表示します。

（2）トレーニング効果等

- ・シミュレーターでさまざまな運転シーンを繰り返し体験することで、記憶力や判断力・反応力などのトレーニングにつながります。
- ・シミュレーター上で事故のヒヤリハットの場面を経験することで、実際の車の運転時の事故防止意識の高まりを期待できます。

3. 今後の展開

今後、両社は自動車ディーラーや自動車教習所などへ本運転シミュレーターの導入提案を行い、多くの方々に利用いただくことで高齢者の事故の削減と安全なクルマ社会の実現を目指していきます。

以上

(別紙) ■商品のイメージ



設置例

【シミュレーション画面イメージ】



【診断結果イメージ】



©SJNK/©SLS